

①「ケーステイキング」--->②「特徴的な症状を捉える」--->③「前分析」--->
④「本分析」(統合=病の中心は何か?)--->⑥Rep.--->⑦レメディの決定

統合とは、「何が癒やされるべきか？（病の中心）」を考えることです。ケースの統合は、5～7個程度を過剰書きにすると良いでしょう。

1. まず、ケースを一読して、ケースから受ける①印象を書き留める。
2. 再読して、クライアントの特徴的な点（症状）をピックアップする。
3. ピックアップした特徴的な点の全体を眺める。（紙に書き出しても良い）

8. 最終的には、ポテンシーとドーズを決めて、クライアントに提案する。

さて、CASE 学習では、この教室を出たら、決して、その内容について話すことなく、
守秘義務を守って下さい。では、始めましょう。